

令和 6 年度武蔵野市財政援助出資団体 経営目標

団体名		社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会				
事業	指標名	「ちょこっと出先で生活相談」事業の実施			目標値	年間12回
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 回)	—	—	3	令和4年度の「地域福祉コーディネーター設置検討委員会」での検討結果から、令和5年度下期から開始。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(2) 事業評価の導入と事務事業の見直し		
	設定理由等	・より多くの市民が参加することによって、地域社会の発展を促して市民生活を豊かにし、設立目的である地域社会の発展と豊かな市民生活の形成に寄与するため。 ・「社協が実施するので、公的施設等ではない地域住民の生活圏に近い場所で実施して欲しい」との委員会報告を受けて、実施場所の開拓等を行っている。目標値は、令和5年度の実績から上乘せした数値とした。				
	取組内容	・事業の実施場所の拡大について、商工関係にも働きかけを行う。 ・実施地域に偏りが出ないように、実施場所を選定していく。 ・実施場所の決定後、速やかに実施近隣地域へのPRを実施する。				
財務	指標名	会費収入			目標値	2,800千円
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 千円)	3,129	2,909	2,758	5年度は4年度の減額幅よりは小さくなったものの、会費収入の減少が続いている。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化		
	設定理由等	・収入のある事業として会費のほかには、寄付金、歳末たすけあい募金、広告料、バザー売上、チャリティゴルフ大会収益、自動販売機売上があるが、基本的に収益性のある事業は行っていないため、収入の増加を見込める対象事業が限られている。 ・「会員＝社協活動や地域福祉活動の理解者」と捉え、地域福祉活動の協力者の拡大も目指す。				
	取組内容	・わかりやすい会員メリットの提供のため、会員優待サービス協力企業を増やす。 ・令和5年度から開始したクレジットカード決済について、SNSやWEB媒体でのPRを行う。				
内部管理体制	指標名	人材育成指針			目標値	人材育成指針の作成
	過去の実績	令和3年度	令和4年度	令和5年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:)	作成に向けた情報収集・検討	人材育成指針(骨子案)の作成	人材育成指針案の作成	令和3年度から、人材育成指針の作成に向けた検討を開始し、取り組んでいるが完成に至っていない。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針(平成21年2月改正)の具体的な取組の該当項目			(4) 団体職員の人材育成と財政基盤の強化		
	設定理由等	・過去の職員ワーキングでの意見から人材育成指針の必要性が言われ、作成に向けた取り組みを進めてきたが、完成には至っていないため。 ・職員の育成方針などを示し、体系的な職員研修を実施していくことが望ましい。				
	取組内容	・指針の作成にあたって、他区市の社協や他団体の育成指針を収集したが、組織の規模が異なるなど、そのまま落とし込むことが馴染まないものもあるため、市民社協の組織規模に準じた人材育成指針となるように内容をまとめていく。				